CHASEBLISS
AUDIO

TONAL RECALL RKM

取扱説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

シートベルトを締めて！火星旅行の準備は OK？

”Red Knob バージョン”の Tonal Recall は、伝説的な MN3005 BBD 素子のリイシューバージョンを 4 つ使用して組み上げられた、真のアナログディレイペダルです。ディレイタイムは 1100ms まで引き伸ばされ、テープエコーライクなモジュレーションを加えてトーンバリエーションを広げています。クラシックで伝統的なアナログサウンドにインスパイアされていますが、機能はタップテンポ、選択可能なバイパス方式やトレイル、エクスプレッションペダルでの操作、プリセットの保存など現代的なエッセンスが加えられています。全てのノブとスイッチは小さなデジタルブレインに接続されていますが、ギターのシグナルはデジタル処理されることなく、100%アナログのまま出力されます。エフェクトコントロールをデジタル制御することで、今までのアナログタイプのエフェクターでは不可能だった新感覚のトーン/コントロールを実現しています。

TONE(RAMP)

シンプルに言えば、これは魔法のノブです。ramp 機能にどの dip スイッチもアサインされていないとき、このノブはリピート音のローパスフィルターのトーン調節として機能します。右に回していくと一般的なアナログディレイよりブライトなトーン、左に回すとダークな雰囲気になります。左に回し切るとヴィンテージのオイル缶エコーの様なブラックアウトしたトーンも再現できます。トーンを下げる設定だとディレイ音がロールオフすることがありますが、Tonal Recall はトーンの設定により自動的にディレイ音をブーストして問題を解消しています。ramp 機能を使うと、デジタルコントロールにより他の 5 つのパラメーター（mix, rate, time, regen, depth）を個別に、または同時にこのノブ一つで操作できるようになります。モジュレートやランプ・アンド・ホールド（rise, fall モード）を後ろにある dip スイッチで設定することで、パラメーターが変わる幅や変わる方向を決めることができます。その場合、このノブは割り当てたパラメーターを可変させるタイム（ramp タイム）を調整します。

MIX

このノブはドライ信号とディレイリピート音のミックスを調節します。右に回し切ると 100%ウェット信号、ディレイ音のみが出力されます。このときシグナルは少しだけブーストされます。左に回しきると 100%ドライ信号が出力されます。およそ 12 時方向でドライとウェットが 50:50 で出力されるセッティングとなります。

RATE

リピート音にかかるピッチモジュレーションの LFO (low frequency oscillator)速度を調整します。右に回すと速く、左に回すと遅いモジュレーションになります。

TIME

ディレイタイムをセットします。右に回すと長いディレイタイム（最大 1100ms)、左に回すと短い設定になります。タップテンポスイッチでタイムが入力された場合、このノブを設定は上書きされます。

NOTE DIVISION（音符）トグルスイッチ

タップテンポのサブディビジョンを設定するトグルスイッチです。タップテンポの入力に対して、実際に設定されるテンポの倍率を切り替えます。ペダル後ろの dip スイッチで、括弧内にあるテンポ倍率へ切り替えることも出来ます。また"tap control"の dip スイッチの設定により、パラメーターを ramp 機能を使って動かす際のタップディビジョンをタップテンポスイッチで決められます。その場合、ramp の速度はタップスイッチで入力した速度の半分の速さになります。

REGEN

ディレイのリピートの回数を調整します。うまく設定すれば永遠に続くかのような無限の残響から、狂気的なセルフオシレーションまで自在に操ることができます。ディレイ音が重なっていくと美しく崩壊していくテープサチュレートエコーのようなトーンを出力します。

DEPTH

リピート音にかかるピッチモジュレーションの深さを調整します。

S/L/B トグルスイッチ

ディレイモードを切り替えます。ディレイ信号が処理されるチップの数を切り替えて、ディレイタイムの設定幅を変えます。

・**S :** Short モード。No.1 の MN3005 チップを使用。20ms から 275ms のディレイタイム。

・**L :** Long モード。No.2 の MN3005 チップを使用。80ms から 1100ms のディレイタイム。

・**B :** Both モード。両方のチップを使用。霧の中のような、ぼやけたリバーブライクなトーン。

WAVE SHAPE トグルスイッチ

リピート音のピッチモジュレーションの波形を 3 種類から選択します。左が三角波、中心が正弦波、右が矩形波です。

BYPASS スイッチ

このスイッチでペダルのオンオフを切り替えます。ペダルの背面の dip スイッチでモーメンタリーバイパス（スイッチを押している間だけエフェクトをオン）に設定することも出来ます。

また dip スイッチでリレーを使ったトゥルーバイパスと、トレイルを残すバッファードバイパスも切り替えられます。トゥルーバイパス設定ではオフにしたとき残響がカットされ、バッファードバイパスのときはペダルをオフにしたとき残響が自然に残ります。

TAP / HOLD スイッチ

テンポを入力できるタップスイッチです。タップテンポは常に最後に 2 回入力されたテンポに追従します。Tonal Recall RKM の最大のディレイタイムは 1100ms なので、それ以上長い設定でタップしてもタイムは 550ms になります。しかし例えばタップテンポのディビジョンを 8 分音符に設定して、2000ms でタップするとディレイタイムは 100ms になります。

スイッチを長押しすると、ペダルは”runaway mode"となり、セルフオシレートします。ちょうど REGEN ノブを最大あたりに設定したときと同じ効果になります。

下のトグルスイッチ（プリセットスイッチ）

一番下にあるスイッチはプリセットの呼び出しに使用します。右側のポジションでプリセット#1、左側でプリセット#2 を呼び出します。真ん中のポジションは常に現在のノブ、トグルスイッチ、dip スイッチの設定を呼び出します。トグルスイッチ右側のポジションに現在の設定をプリセットとして保存するには、まず右側のフットスイッチ（bypass)を 3 秒長押しし、そのまま bypass を押しながら tap/hold のスイッチも同時に 3 秒押します。LED が点滅し、設定がプリセットに保存されます。トグルスイッチ左側のポジションにプリセットを保存したい場合は、左のフットスイッチの長押しから始めて同じ動作をします。プリセットを呼び出している状態でノブを動かしたりして設定を変更すると、プリセットスイッチ上の LED が暗くなります。これは元々のプリセット設定から何かが変更になったことを表します。この変更をプリセットに反映したい場合は、再度設定をプリセットに保存する必要があります。

IN / OUT

1/4”モノインプットジャックです。

EXP / CV

エクスプレッションペダルを接続する 1/4" TRS ジャックです。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは、背面の dip スイッチで選択できます。tip はワイパーに接続して下さい。弊社では BOSS FV-5 にて動作確認をしています。スタンダートなエクスプレッションペダルがご利用いただけますが、ご不明点があればお問い合わせ下さい。

0-5 の CV（コントロールボルテージ）を受けることも出来ます。その場合リングがフローティングされるようにして下さい。

TAP / MIDI

外部タップテンポスイッチを繋ぐことができます。また、タップテンポの信号を出力することもできます。

Chase Bliss MIDIBOX, または Empress Effects MIDIBOX を使用すると、MIDI クロックでペダルをコントロールすることが出来ます。MIDI については巻末の項目を御覧ください。

電源について

消費電力 150mA、2.1mm 9VDC センターマイナスのパワーサプライで動作します。電池は使用できません。

EXP /CV コントロール、dip スイッチについて

プリセットを保存すると、dip スイッチのオンオフ設定も全て保存されます。

「on off」側の Mix, Rate, Time, Regen, Depth を on にすると、エクスプレッションペダル / CV、または RAMP ノブに機能を割り当てることが出来ます。割り当てる機能は一つでも複数同時でも有効です。

エクスプレッションペダル、または CV を接続するかは自動的に検出されます。エクスプレッションペダルが接続されると、RAMP ノブには機能は割り当てられず、Tone として動作します。

エクスプレッションペダル/CV を使った波形のダイレクトコントロール

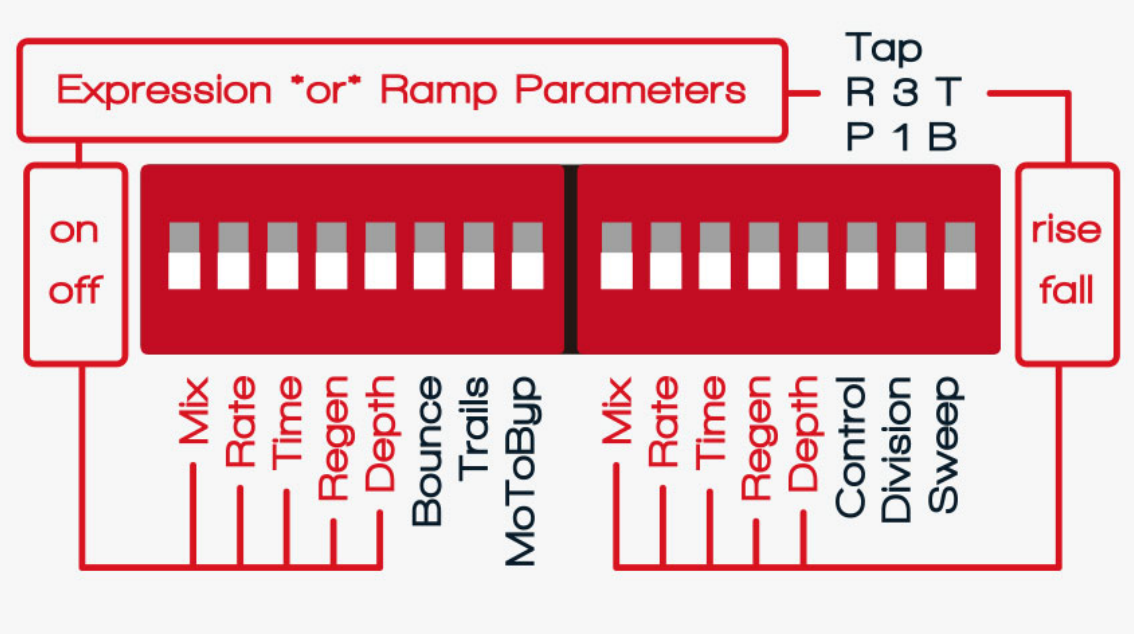
EXP/CV ジャックに何らかを繋いで、かつ dip スイッチで何も割り当てていない場合、モジュレーションをエクスプレッションペダルまたは CV でコントロールすることが出来ます。調整幅は depth ノブで決定します。最小から最大まで全ての幅をコントロールしたい場合は、depth ノブを右へ回しきります。

EXP / CV のレンジの調整

エクスプレッションペダルと CV のコントロールレンジ（パラメーターの設定可能な幅）は、ノブのポジションと後ろの sweep の dip スイッチで決定します。例えば、regen（ディレイのフィードバック）をリピート無しから自己発振するような設定まで、エクスプレッションペダルでコントロールしたい場合は、sweep の dip スイッチを b（bottom）ポジションに設定し、regen ノブを 0 から設定したい幅まで上げます。もっとフィードバックが必要な場合は、regen ノブを更に上げます。これでエクスプレッションペダルでコントロールする幅を広げることが出来ます。様々なパラメーターを同時に可変させることが出来ますが、それぞれのノブで可変幅は微調整できます。

dip スイッチについて

dip スイッチの設定は最初は難しく複雑に感じると思います。初めてペダルを使用するときは、まずは dip スイッチのことは忘れてプレイしてみて下さい。ベーシックな機能を把握したあと、その後更に必要な機能に合わせて dip スイッチを設定すると、うまくいくと思います。



※ramp の動き（各パラメーターの動き）は、バイパスごとにリセットされます。エフェクトを ON にしたあと、各パラメーターは dip スイッチの設定に関わらずノブの位置に設定されます。

・**「on off」側の Mix, Time, Rate, Regen, Depth :** RAMP ノブ、エクスプレッションペダル、CV にパラメーターのコントロールを割り当てます。

・「*rise fall*」側の *Mix, Time, Rate, Regen, Depth* : パラメーターを RAMP ノブに割り当ててコントロールしたとき、ノブを右に回してパラメーターが上がる（rise）または下がる（fall）を決定します。エクスプレッションペダルを接続しているときは、エクスプレッションペダルでパラメーターを操作するとき、ペダルの踏み込みでノブが右回しになる=rise モード、ペダルの踏み込みでノブが左回しになる＝fall モードを設定します。

・**Bounce :** このスイッチを on にしてかつエクスプレッションペダルが接続されていないとき、各パラメーターは自動的に可変します。（モジュレートします）

・**Trails :** ・Trails : バイパスタイプを設定するスイッチです。Trails を off にするとトゥルーバイパス、Trails が on だとバッファードバイパスになります。トゥルーバイパス設定ではオフにしたとき残響がカットされ、バッファードバイパスのときはペダルをオフにしたとき残響が自然に残ります。バッファードバイパスに設定していると、ペダルが自己発振している状態からペダルをオフにしても、音は全てカットされません。

・**MoToByp :** モーメンタリーバイパスのオンオフを切り替えます。on にすると、bypass フットスイッチを押している間だけエフェクトがオンになります。

・**Tap Control :** R では ramp、P は parameter を表します。P のポジションでは、タップテンポはディレイタイムを入力します。R のポジションでは ramp のレートをタップテンポで入力します。このとき Bounce をオンにすれば、RAMP ノブに割り当てたパラメーターをタップテンポで設定したテンポでモジュレートさせることが出来ます。

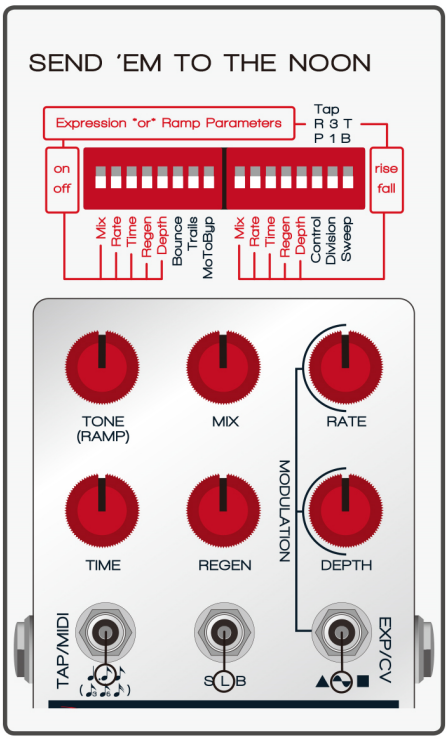
・**Tap Division :** タップテンポを使用した際のディビジョンを設定します。3 のポジションにすると、括弧内の音符でタップテンポを設定できます。

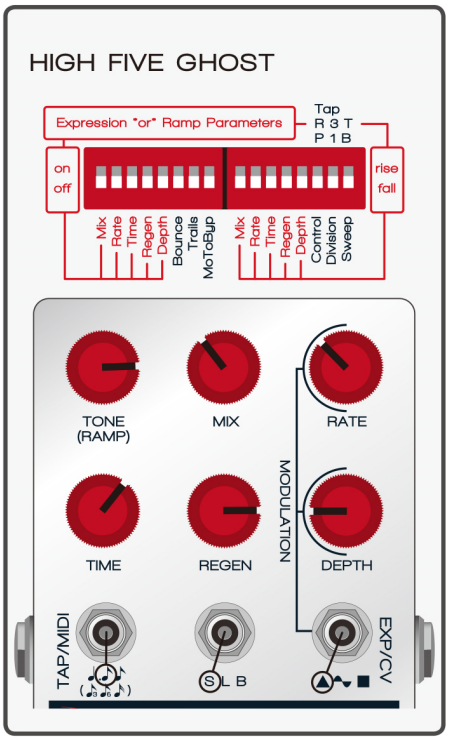
・**Sweep :** RAMP ノブとエクスプレッションペダルの可変幅を設定するのに使います。

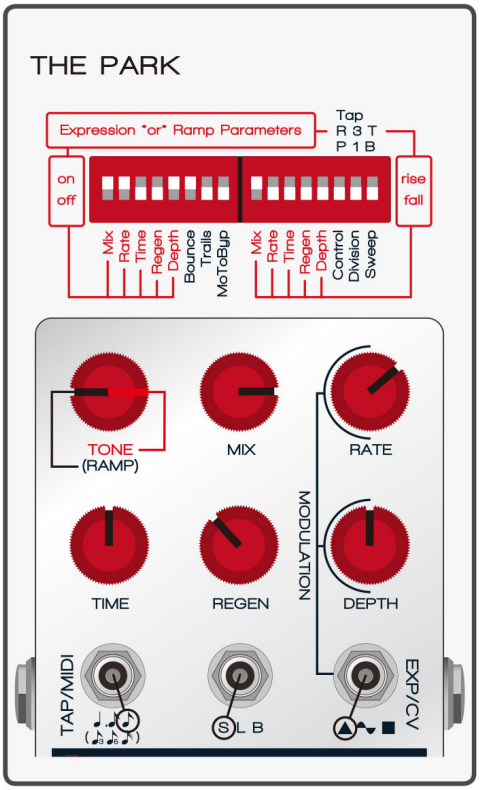
・**T（Top）**ではエクスプレッションペダルの可変幅が現在のノブのポジションから最大値までの間で設定されます。B（Bottom）では可変幅が現在のノブのポジションから最小値の間で設定されます。

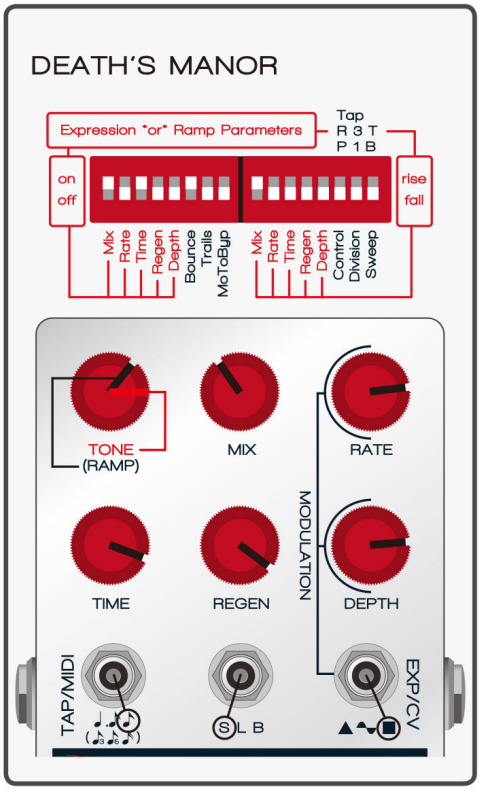
サンプル設定

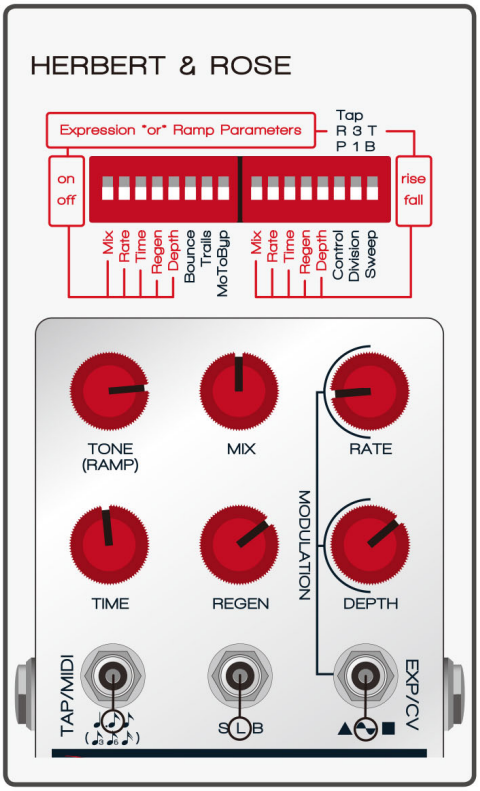
これらのサンプル設定の実際のサウンドは弊社ホームページ、または
soundcloud.com/chaseblissaudio で試聴することができます。

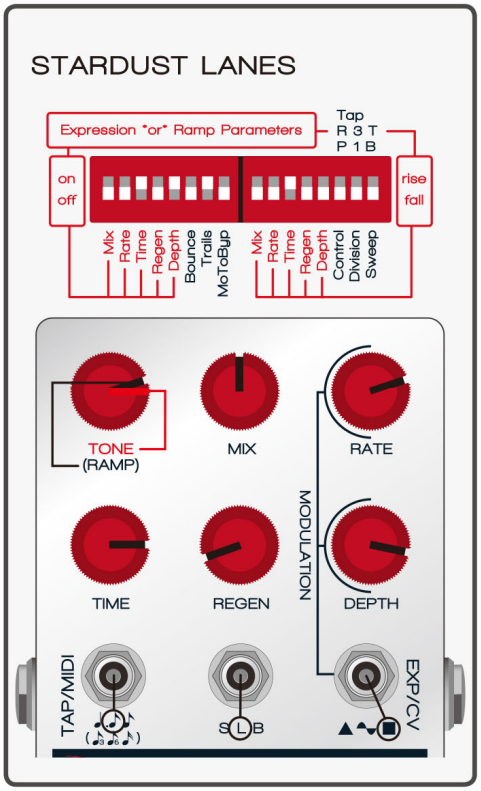





THE PARK
Expression "or" Ramp Parameters
Tap
R 3 T
P 1 B
on
off
rise
fall
Mix
Rate
Time
Regen
Depth
Bounce
Trails
MoToByp
Mix
Rate
Time
Regen
Depth
Control
Division
Sweep
TONE
(RAMP)
MIX
RATE
TIME
REGEN
DEPTH
MODULATION
TAP/MIDI
S L B
EXP/CV


DEATH'S MANOR
Expression "or" Ramp Parameters
Tap
R 3 T
P 1 B
on
off
rise
fall
Mix
Rate
Time
Regen
Depth
Bounce
Trails
MoToByp
Mix
Rate
Time
Regen
Depth
Control
Division
Sweep
TONE
(RAMP)
MIX
RATE
TIME
REGEN
DEPTH
MODULATION
TAP/MIDI
S L B
EXP/CV


HERBERT & ROSE
Expression "or" Ramp Parameters
Tap
R 3 T
P 1 B
on
off
rise
fall
Mix
Rate
Time
Regen
Depth
Bounce
Trails
MoToByp
Mix
Rate
Time
Regen
Depth
Control
Division
Sweep
TONE
(RAMP)
MIX
RATE
TIME
REGEN
DEPTH
MODULATION
TAP/MIDI
S L B
EXP/CV


STARDUST LANES
Expression "or" Ramp Parameters
Tap
R 3 T
P 1 B
on
off
rise
fall
Mix
Rate
Time
Regen
Depth
Bounce
Trails
MoToByp
Mix
Rate
Time
Regen
Depth
Control
Division
Sweep
TONE
(RAMP)
MIX
RATE
TIME
REGEN
DEPTH
MODULATION
TAP/MIDI
S L B
EXP/CV

MIDI について

Tonal Recall RKM は全てのパラメーターを MIDI コントロールメッセージで操作することが出来ます。プリセットの呼び出しと保存も MIDI を介して操作できます。

本機で MIDI を使用するには、まず以下に従って下さい。

1. Chase Bliss MIDIBOX を用意し、Tonal Recall RKM の TAP/MIDI ジャックと MIDIBOX をスタンダードな 1/4"TRS ケーブルで接続します。Chase Bliss 製以外の MIDIBOX を使用する場合、tip とリングを反転させる改造が必要になる場合があります。詳しくは国内代理店までお問い合わせ下さい。

2.　デフォルトでは Tonal Recall RKM は MIDI チャンネルの 2 に設定されていますが、必要であれば他のチャンネルへ変更できます。変更したい場合、TAP と BYPASS スイッチを長押ししながら電源を入れます。その後設定したい MIDI チャンネルのメッセージを Tonal RecallRKM に送信します。

MIDI を使ったプリセットの呼び出し

MIDI のプログラムチェンジメッセージを送ることでプリセットを呼び出すことが出来ます。例えば、プログラムチェンジメッセージの 1 はプリセット 1 を呼び出します。プリセットスロットは 122 まで使用できます。スロット 1 と 2 はペダルのプリセットトグルスイッチを使って直接保存ができるプリセットと同じものです。スロット 1 が右、スロット 2 が左です。プログラムチェンジメッセージを 0 で送信すると、ペダルを「ライブモード」で呼び出します。プリセットトグルスイッチが真ん中のときと同じ設定です。

MIDI を使ったプリセットの保存

MIDI を介してプリセットを保存するには、本体の TAP と BYPASS スイッチを同時に押しながらプログラムチェンジメッセージを送信します。例えば、両方のスイッチを押しながらプログラムチェンジメッセージの 45 を送信すると、現在の設定がプリセットスロットの 45 に保存されます。本体のトグルスイッチで呼び出せるプリセットは 1 と 2 のみですが、MIDI を使うと 122 までのスロットを使用できます。

MIDI クロック（MIDI ビートクロック）

本機は MIDI クロックメッセージを受け取ることが出来ます。MIDI クロックは 4 分音符を 24 までの MIDI メッセージに細分化します。サブディビジョンを選択するトグルスイッチで、

4 分音符、8 分音符、付点 8 分音符、3 連符、6 連符、16 分音符のディビジョンを選択できます。

コントロールチェンジメッセージ

Tonal Recall RKM は MIDI コントロールチェンジメッセージで操作をすることが出来ます。

<table>
<tr><th>パラメーター</th><th>CC#</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>Tone</td><td>14</td><td rowspan="6">0 を送信すると、ノブを左に回しきるのと同じになり、127 を送信すると完全に右に回しきりになります。
中間の値は全てノブの中間の位置に対応します。</td></tr>
<tr><td>Mix</td><td>15</td></tr>
<tr><td>Rate</td><td>16</td></tr>
<tr><td>Time</td><td>17</td></tr>
<tr><td>Regen</td><td>18</td></tr>
<tr><td>Depth</td><td>19</td></tr>
<tr><td>Ramp</td><td>20</td></tr>
<tr><td>Midi タップディビジョン</td><td>21</td><td>値が 0 の時に全音符、1 で 2 分音符、2 で付点 8 分、3 で 4 分音符、4 で 8 分音符、5 で 16 分音符となります。</td></tr>
<tr><td>MIDI Clock Ignore</td><td>51</td><td>0 を送信すると MIDI クロック信号を無視します。127 に設定すると MIDI クロック信号が有効になります。デフォルトでは MIDI クロック信号は有効です。</td></tr>
</table>

Tap スイッチ	93	何らかの値を送信すると、タップスイッチが踏まれたと認識します。MIDI を使ってタップテンポを設定するときに使用します。
エクスプレッション	100	0 を送信するとエクスプレッション・ペダルが完全にオフと認識します。127 でペダルを最大まで踏み込んだ状態になります。その間の数値は全てペダルの中間に対応します。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは本体の dip スイッチで設定します。
バイパススイッチ	102	127 を送信するとペダルを ON にします。0 でペダルをバイパスします。エフェクト ON のときに 127 を送信すると、全てのランピングをリセットします。